

平成26年 8月 8日

資料提供先：鳥取県政記者会、米子記者クラブ、倉吉記者クラブ



山の鼓動を感じる！！

～『キャンプ砂防2014 in 大山』の実施～

キャンプ砂防とは、砂防事業が行われる中山間地域において抱える問題点や現状を実際に体験できる場を学生に提供し、砂防関係事業に対する意義・役割を伝え、土砂災害防止に関する意識を向上させることを目的としています。

- 実施期間 平成26年8月18日（月）～8月22日（金）
- 実施内容 開講式
倉吉河川国道・日野川河川事務所管内の砂防現場見学
環境実習
大山源頭部崩壊地・植物調査
成果発表
閉講式 ※詳細は別紙のとおり
- 参加者 砂防を専攻または関心をもつ大学生2名

○昨年度の実施状況



【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局
倉吉河川国道事務所 TEL (0858) 26-6221 (代表)
副所長(河川) 川上 暁洋 (かわかみ あきひろ)
【担当】 工務第一課長 山本 康夫 (やまもと やすお)

◆キャンプ砂防2014 in 大山

別紙

実施事務所：倉吉河川国道事務所・日野川河川事務所

今年のテーマ：砂防事業を“見て・聞いて・考える”

【実施日程】

○下記については予定であり、気象状況及び現地状況により前後する場合があります。

月日	時間	実施概要・場所	実施事務所
8月18日(月)	15:00～	開講式 ・倉吉河川国道事務所	倉吉河川国道事務所 日野川河川事務所
	15:15～	オリエンテーション ・倉吉河川国道事務所	
	15:30～	事業概要説明(天神川・日野川) ・倉吉河川国道事務所	
8月19日(火)	9:00～	倉吉管内砂防現場見学、工事管理体験 ・倉吉市関金町野添 ・倉吉市関金町明高	倉吉河川国道事務所
	13:00～	自然環境調査(概要説明) ・倉吉河川国道事務所	
	14:00～	現場実習(魚類調査) ・東伯郡三朝町穴鴨	
	16:00～	砂防基本計画(講義) ・倉吉河川国道事務所	
8月20日(水)	6:00～	大山登山 ・源頭部崩壊地調査 ・植物調査	倉吉河川国道事務所 日野川河川事務所
	14:00～	日野川管内砂防現場見学 ・日野郡江府町大河原	日野川河川事務所
8月21日(木)	9:00～	現場実習(水質、昆虫調査) ・日光水辺の楽校	—
	14:00	引き継ぎ(ポート赤碕)	
	15:00～	キャンプ砂防とりまとめ ・倉吉河川国道事務所	
8月22日(金)	9:00～	キャンプ砂防とりまとめ ・倉吉河川国道事務所	倉吉河川国道事務所 日野川河川事務所
	11:00～	研修生発表 ・倉吉河川国道事務所	
	11:15～	開講式 ・倉吉河川国道事務所	

○実施日程に関する問い合わせ先

- 倉吉河川国道事務所 工務第一課 山本、本田
TEL(0858)26-6221(代表)
(0858)26-6224(直通)
- 日野川河川国道事務所 工務課 原、細木
TEL(0859)27-5484(代表)
(0859)27-2434(直通)

キャンプ砂防in大山 2013

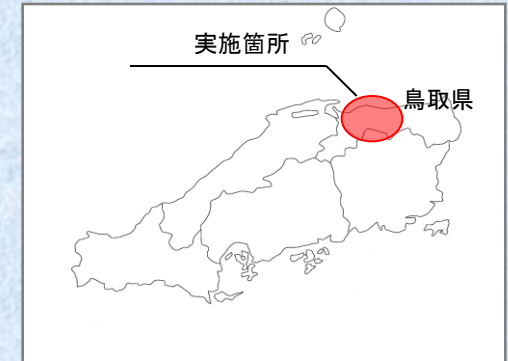
※参考資料
2013年
実施状況

「砂防事業を“見て・聞いて・考える”」

実施期間

平成25年8月19日
～8月23日

倉吉河川国道事務所
日野川河川事務所
(合同開催)



8/19(月)

天神川流域・日野川流域

・開校式、事業概要説明



開校式・事業概要説明
(日野川河川事務所)

8/20(火)

日野川流域

・大山源頭部調査・大山植生調査(大山登山)
・砂防工事現場見学



大山源頭部調査(頂上にて)



砂防工事現場見学
(伯耆町)

8/21(水)

日野川流域

・魚類調査体験

天神川流域

・工事現場見学



魚類調査で投網体験



工事現場見学（倉吉市関金町）

8/22(木)

土砂崩壊が発生した箇所での実習

・崩壊土砂量調査



現地での調査実習

（三朝町）



調査データのとりまとめ

8/23(金)

レポート発表・閉校式



レポート発表



閉校式（修了証書の交付）

参加学生の声 レポートより抜粋

・ただ事業を行うだけでなく環境への影響など、様々なことを視野にいれられるような人間になりたいと思う。

・授業などでいくら聞いても現地に行かないとわからないことがたくさんある。砂防事業の現場において、安全対策や環境や効率を考えた工夫などが学べたことは大きい。

（H25キャンプ生 男性）

・工事の発注・計画などから維持管理に至るまでの苦労を知った。また、工事と自然環境や工事と天候、工事とコストなど様々な問題で苦労していることを知った。

・現場で砂防堰堤の捕捉効果の説明を受け、砂防堰堤の存在意義を感じることができた。

・座学で学んでいた不安定土砂量等の算定など、現場の実際を知ることができたことは大変有意義だった。

（H24キャンプ生 男性）

・実際に砂防施設を見学したり、災害現場を視察したりすることで砂防事業をもっと身近で重要なものと感じることができた。

・砂防というのは山での対策ばかりを意識しがちだったのだが、皆生海岸に行くことで海岸の浸食対策も砂防事業の一つと知ることができた。

（H23キャンプ生 女性）